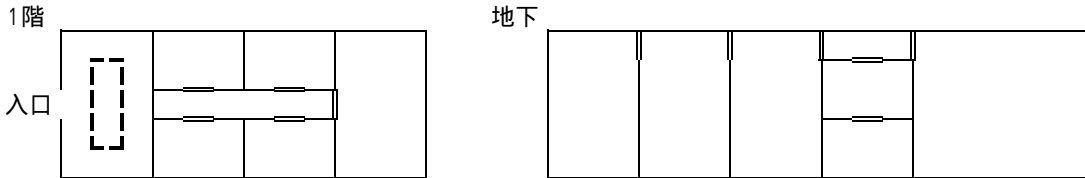


旅立ちの約束



落とし穴、搜索達成値13で誰かが降りた跡がわかる。
扉の空いている部屋、時間次第でジャイアントバッド×2がいる。
下り階段。
上り階段。
ゴブリン×3、最近住み着いた野良ゴブリン、奥のことは知らない。
入口は魔法の鍵、アンロックで開く。
ボーン・サーバント×2が侵入者排除のために動く。
魔術師カマロの部屋、魔法のネックレス作成のことと、
その番人としてアザービーストを召喚していることが日記に書いてある。
蛮族を馬鹿にしたようなことも書いてある。

落とし穴の落下地点。
スペクター、クオーレの亡霊
ランサーが来たことと、娘の事を頼まれる。
アザービースト
ランサーの遺体と、ハーフ・ウェイトが落ちている。
魔法のネックレス、効果は、古代の額の水晶と同じ、
全然役に立たない、当時から誰も欲しがらなかった。

導入:

オランのとある宿の主人、アコードさんから話を振ってくる。
サニーと言う少女の父親、ランサー(実は育ての親)を探して欲しいと言う依頼。
ランサーは「一ヶ月で戻ってこなかったら、忘れて一人で生きる」と書置きを残している。
アコードはランサーとは知人で、サニーの実の父親クオーレが死んでいる事を知っている。
ランサーはサニーを引き取ったときに、サニーが15になったらクオーレを探すたびに出よう、と言っていた。
サニーは冒険者の修行として、料理、裁縫を練習している、野外では全く役に立たない技。

情報収集:

アコードからは上記のほか、ランサーとクオーレが最後に行った遺跡の場所を知っている。
シーフギルドでは、ランサーが魔法の短剣を盗み出しているので、捜査依頼が出ている、ただし500ガメルと安いので乗り気ではない。
魔法の短剣、名前はハーフ・ウェイト、効果は必ず重量が使用者の筋力の半分になる、攻撃力は+1、
追加ダメージボーナスが0になり、技能ボーナス、筋力ボーナスも入らないので安い、一応魔剣扱い。

ダンジョン:

遺跡は、街から数日の場所にある、入口は一見自然の洞穴になっている。
入口は自然の洞窟風、床が崩落したような落とし穴があるが、置くにはどう見ても人工の扉がある。
足跡搜索で、2足歩行タイプの足あと、運が避ければ落とし穴から誰かが下りた跡がわかる。

遺跡にはゴブリンが住み着いているが、地下の奥の方へは鍵が開かないため行っていない。
階段から降りるとゴブリンと遭遇、部屋の奥には鍵のかかった扉、その奥には通路、魔法の鍵のかかった扉がある。
ボーン・サーバントを倒して魔術師の部屋に行くと、魔法のネックレスの製作者であることが分かる。
魔精石くらい部屋にあっても良い。

通路の方から進んで行った先は落とし穴から降りてきたところと繋がる。
奥の方(方角では入口側)に進むと、スペクターに出会う、これはクオーレの亡霊。
クオーレが言うには、10年前にランサーと二人で遺跡探索に来ていたが、魔獣に殺されてしまった。
ランサーの生死はわからなかったが、娘の事が気にかかっていた。
ランサーがやってきて、なにやら見殺しにした事を後悔しているような事を言いながら、結局話を聞かずに奥に行ってしまった、
おそらくランサーも生きていない事を悟っている。
サニーが元気な事を話すと、成仏する。

奥の部屋では、赤い四足獣型のアザービーストが居る。
人間のものと思しき死体があり、その傍らに短剣が落ちている。
アザービーストを倒すと、その後の箱に黒い水晶のついたネックレスが入っている。
カマロの日記によると、魔力の塔から水晶と同様の魔力を得る効果を期待できるはずだが、もちろん今は役に立たない。
ネックレスは、賢者の学院が1000ガメルで買い取ってくれる。

ランサーは、クオーレを見捨て、自分が殺したようなものだと思い込んでいた。
せめてもの罪滅ぼしとしてサニーを一人前に育てる事にする。
そして、サニーが一人で生きていけるまでに成長したため、クオーレの仇をとり遺跡に挑んだ。
ただし、知識がいまいちだったため、魔剣があれば倒せると思い、
働いていた武器屋から「必ず返す」と残ったお金を残して(足りてない)、ハーフ・ウェイトを拝借して行っている。